

認定看護師ニュースレター第 87 報

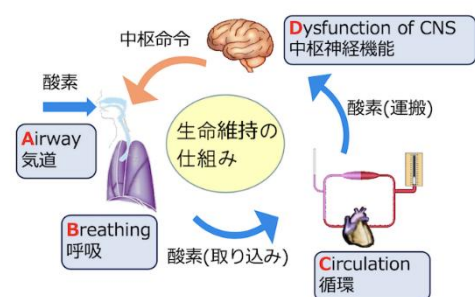
皆さん初めまして。クリティカルケア認定看護師 野口みどりです

2011 年救急看護認定看護師を取得後、看護師特定行為研修を終了し、クリティカルケアへ名称変更しました。4 月 1 日より佐世保中央病院の一員となりました。これからよろしくお願いします。

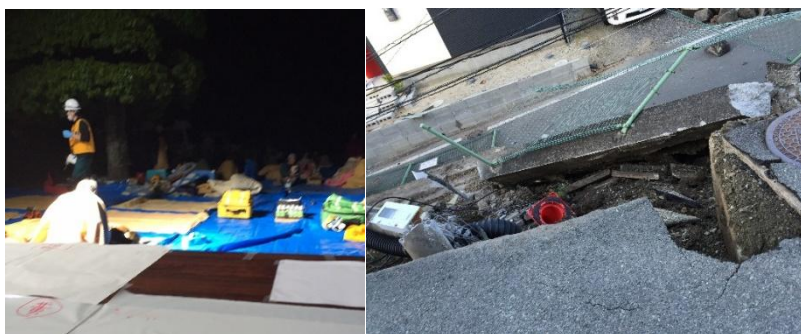
私の得意とするところは、急変対応と災害看護です。急変対応については、MET 委員会、RRS 委員会に所属していますので、事例の検証や、部署へのフィードバックなど今後行っていきたいと思っています。

人の生命は、ABCD いずれかに障害が生じても維持することが困難になります。私たちは日常的にバイタルサインを見ることで患者さんの異常の早期発見につなげています。その中でも重要なバイタルサインは呼吸数です。バイタルサインの中で測定しづらく、最も測定されていない項目です。呼吸数をモニターで確認するのではなく、ぜひ実測を行ってほしいです。

生命を維持するための生理学的機能の輪



災害看護についての過去の経験をお話しします。熊本地震を覚えていますか？災害を風化させないため、お話しさせていただきます。私は日本 DMAT に所属しており、はじめの地震発生（前震）の 3 時間後に熊本に向け出発しました。夜が明けると倒壊家屋やひび割れた道路を目の当たりにしました。その日の夜、臨時救護所として益城町で活動していました。そこで本震を体験することとなりました。自分たちの安全を確認し、夜の寒い中、屋外に救護所を作りました。心が揺さぶられる大きな体験をさせていただきました。無事に帰還できたのはメンバーがお互いを信じ、他職の方も含め、綿密なコミュニケーションがとれたからだと感じました。この経験は、病院看護師としても通ずると言えます。お互いをリスペクトし、チームとして医療・看護の提供は患者さんや家族にとっての利益につながると考えています。



作成：野口 みどり

承認：横山 藤美